

附属機関等の会議録

会議の名称		令和 5 年度 第 2 回 田川市地域包括ケアシステム推進協議会 (医療・介護・住まい部会)
開催日時		令和 6 年 2 月 2 8 日 (水)
開催場所		田川市役所 4 階 第 2 委員会室
出席者	委員	学識経験者、保健医療関係者、福祉関係者、住宅関係者、行政関係者等 1 5 名
	事務局	保健福祉課 福祉政策係、高齢障害課 高齢介護係
	その他	保健福祉課、高齢障害課
議事内容		<p>1 資料に沿って事務局から説明後質疑応答</p> <p>(1) 「医療と介護の情報共有の仕組みづくり」について</p> <p>○「在宅療養のしおり」は、医師会で更新していると思うが、医師会から事業所に対して照会等を行っているか。また、変更の報告がない事業所に対して変更の有無などの確認は行っているか。</p> <p>⇒原則年 1 回の更新であるが、変更があれば届出を提出してもらい、随時更新しているようである。毎年医師会から全事業所に対して郵送で確認書類を送付しており、変更等なければ返信不要の取り扱いで確認を行っている。</p> <p>○退院時情報記録書（共通様式）の活用について、今後の見込みやタイムスケジュール等はあるか。前回の会議で提案のあった様式を使用することとなっているのか。</p> <p>⇒病院によって手続きやシステムに違いがあるため、各病院の事情に応じて使用を任せている状況である。病院によってはサマリーとの兼ね合い等で、共通様式をそのまま使用することが難しいため、様式を検討したいという病院もあった。</p> <p>○本来、全病院が共通様式を使用し、誰でも同じように読み取れることが目的であったのでは。共通様式を使用しない病院があるならば連携は上手くいってないのではないか。</p>

⇒各病院と協議したが、看護サマリーの作成と重複する部分もあるため、共通様式の導入は難しい点もあるとの意見があった。ただし、介護との情報連携は大事という認識はどの病院にもあり、必要な情報が伝達出来ていないなら改善していきたいとの回答もあり、様式にとらわれず今後も連携を進めていきたいと考えている。

○できれば各病院と個別に話をするのではなく、他病院の進捗状況等の情報を共有してほしい。

⇒承知した。

○何をもって医療と介護の連携が促進していると認識するのか。病院や介護事業所にアンケート等は行ったのか。

⇒前回の入院時共通様式作成の際は介護施設へ、今回の退院時共通様式作成の際は病院へアンケートを行い、どちらもアンケートの回答に基づいて共通様式を作成した。

(2) 「多職種連携のための場づくり」について

○尊厳死についての講演会に参加したが、ACPのタイミングが非常に難しく、退院時に説明ができるといいのではという意見もあった。先ほどの情報連携の共通様式の作成も、認知症支援部会などとも連携し、ACPの説明や本人の意思確認などのチェック項目を追加することで、医療と介護など多職種の連携が出来ていくのではと考える。

○来年度もケアカフェたがわは3回開催予定か。

⇒その通りである。

(3) 「住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進」について

○全ての建物の居住が令和8年10月まで延期になっているのか。

⇒色々な設備関係の開始を同時にしないと非効率となるため、すべての建物を令和8年10月から居住開始としている。

○全ての住戸が埋まる見込みか。

⇒4団地の建替え住戸の入居希望者で90戸に対して9割は埋まる見込みである。その他の市営住宅からも移転してもらうよう考えている。

(4) 「高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備」について

○人口減少しているが、市営住宅の戸数は将来的に減らしていく方向か。

⇒現在4,980戸の市営住宅を管理しており、入居率は70%程度となっている。賃貸契約があるためすぐに削減はできないが、人口減少社会に向けて令和60年度に管理戸数を1,000戸まで減少することを計画し、事業を進めている。

○市内に空き家が増えていると思うが、空き家対策とは関連するのか。空き家の有効な活用をお願いしたい。

⇒市営住宅の管理とは関連しないが、迷惑空き家と特定空き家に対しての行政措置を行っている。また、空き家を有効活用するため空き家バンクの仲介を行う事業を行っている。

(5) その他

○国が電子カルテの共通化を進めている。その一環で医療と介護の連携に関しても共通化しないといけない時期がくるのではないかと考える。

⇒看護サマリーと退院時の共通様式で違う部分があるとのことだが、自分自身も在宅を行っていて介護と医療が必要とする情報が違うと感じる。介護側が必要とする情報を提供されるように共通様式を作成していくと看護と介護が連携が上手くいくのではと考える。介護と医療が勉強会をするなどお互いが必要な情報を知っていくことが大事だと感じた。

⇒ケアマネジャーの現場でよく聞くが、退院時に看護サマリーを提供してくれない病院もあると聞く。介護保険の退院時連携加算に必要な情報と病院からもらう看護サマリーの内容の情報にずれがある。様式の統一が難しくても、必要な情報を病院に聞取りができる関係ができるとよいのではないか。田川郡にはこの会議のように医療と介護の意見交換の場がないため、このような取組が田川郡にも広がればよいと考える。

問合せ先

保健福祉課 福祉政策係 (TEL: 85-7118)

その他の事項

なし